

## 大陸棚延長に係る現状報告について

### ＜これまでの経緯＞

○総合海洋政策本部での決定を受け、申請書類を昨年の11月12日に国連事務局経由で大陸棚限界委員会に提出し、受理された。

### ＜現状及び今後の予定＞

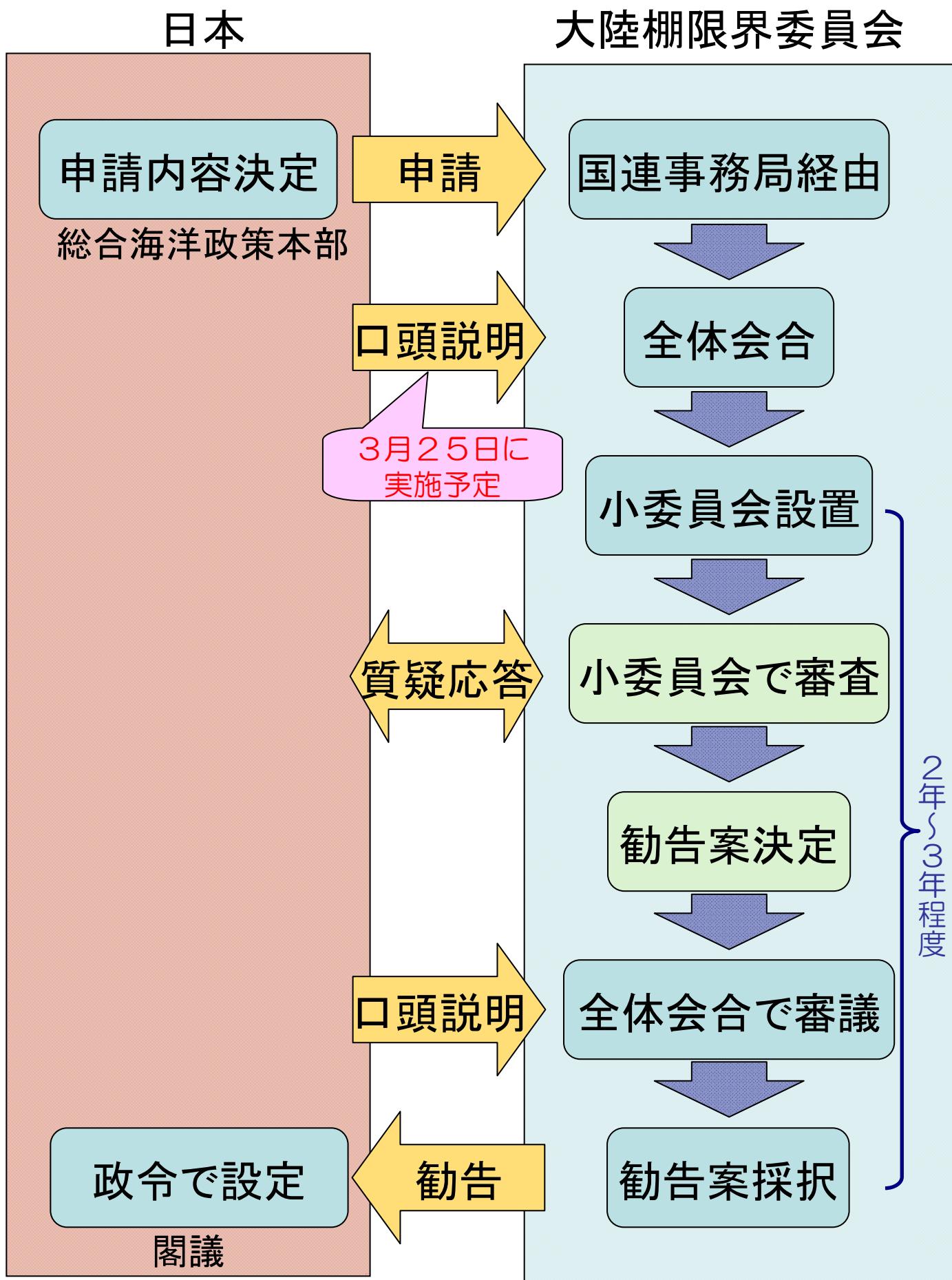
○3月25日に、国連本部（ニューヨーク）において、我が国の申請内容を大陸棚限界委員会に対して口頭で説明（別紙1）。現在、そのための資料等を、大陸棚審査助言会議（別紙2）の助言を得ながら準備しているところ。

○その後、委員会の中に我が国審査のための小委員会が設置され、詳細な審査に入る。

○小委員会による審査が完了し、全体会合での審議で合意され、我が国に勧告が発出されるまでに、小委員会での審査が始まってから2、3年程度かかる見通し。

# 大陸棚限界設定の流れ

(別紙1)



大陸棚審査助言会議メンバー

浦辺 徹郎 東京大学教授

金田 義行 独立行政法人海洋研究開発機構海洋工学センター海底  
地震・津波ネットワーク開発部部長

栗林 忠男 慶應義塾大学名誉教授、  
総合海洋政策本部参与（参与会議座長）

平 朝彦 独立行政法人海洋研究開発機構理事、  
総合海洋政策本部参与

玉木 賢策 東京大学教授、  
「大陸棚の限界に関する委員会」委員

徳山 英一 東京大学教授

## 第3期大陸棚限界委員会の構成(任期:2007年~2012年)

地 域	名 前	国 稽	専門分野*
アジア	アブ・バカール・ジャファール	マレーシア	海洋地理学、環境科学
	ウェンツェン・ルー	中国	地球物理学
	ヨンアン・パク	韓国	地質学
	シヴァラマクリシュナン・ラジャン	インド	地質学、地球物理学
	玉木 賢策	日本	地質学
アフリカ	ローレンス・フォラジミ・アウオシカ	ナイジェリア	地球物理学、地質学
	インデュアラル・ファグーニ	モーリシャス	環境学
	エマニュエル・カルンギ	カメルーン	地質学
	イサック・オウス・オデュロ	ガーナ	地質学
	マイケル・アンセルム・マーク・ロゼット	セイシェル	水路学
ラテンアメリカ・カリブ	アレシャンドレ・タゴレ・アルブケルケ	ブラジル	水路学
	オスバルド・ペドロ・アスティス	アルゼンチン	水路学
	ガロ・フルタド・カレラ	メキシコ	測地学、水路学、地球物理学、海洋法
	フランシス・L・チャールズ	トリニダード・トバゴ	測地学、水路学
東欧	ミハイ・シルヴィ・ゲルマン	ルーマニア	地質学、地球物理学
	ゲオルグ・ヤオシュビル	グルジア	地質学
	ユリ・ボリソヴィッチ・カズミン	ロシア	地質学、国際法
西欧その他	ハラルド・ブレッケ	ノルウェー	地質学
	ピーター・F・クロッカー	アイルランド	地質学
	フェルナンド・マニュエル・マイア・ピメンテル	ポルトガル	水路学
	フィリップ・アレクサンダー・シモンズ	オーストラリア	地球物理学

計21名

\* 選挙時に各候補者の履歴を記した国連文書より作成